

田和山の森から

オオキンケイギク（特定外来生物）の侵入！

去る7月1日（金）の作業日、森の入り口を上ったプレハブに隣接する平地に、オオキンケイギクの花が咲いていました。この花は、北九州市の道端や河原などに繁茂し話題になった植物で、テレビでも放映していました。竹下会長が見つけたもので、早速鍬で掘り起し袋に入れて焼却処分しました。今後見つけたら会長まで連絡ください。

オオキンケイギクについて

特定外来生物・・・日本の生態系に重大な影響をおよぼす恐れのある植物
栽培、運搬、販売、野外に放つこと禁止・・・罰則あり
北米原産、5～7月に鮮やかな黄色い花が咲く、多年生草木



田和山のオオキンケイギク



オオキンケイギクの花

7月の作業

7月は、Bゾーン（南側斜面）、Cゾーン（水道路沿い）の除草、アジサイの花の摘み取り、ナメコの本伏せ、落葉の堆肥づくり等を行いました。ナメコは春に植菌し仮設していた原木を土に埋め本伏せする作業であり、堆肥づくりは落ち葉を集め寝せていた上に、米糠を加え攪拌する作業でした。落葉は暑い程温度が上昇していました。いい堆肥ができそうです。



ナメコの本格設置



落ち葉の堆肥づくり

田和山遺跡の再整備

毎月1回、松江市と三者連絡会を行っていますが、7/3の際、遺跡の再整備計画検討案が提示され、8/1の会でも引き続きこの案について話し合いが行われました。建物の老朽化に伴い、AR・VRを用いた新しい手法で整備をしたいと具体的な提案です。今後さらに話し合いを進め、計画をまとめ来年度には実施に移したいとのことです。詳細についてはいずれお知らせします。

田和山の樹木

第31回「クサギ」

田和山の森で夏の暑い時期（7～9月）に花を付ける数少ない樹木の1つが、クサギです。名前の由来は、枝葉をちぎると独特の臭いがあるため、漢字では「臭木」が当てられクサギと言われています。しかし、花は良い香りがします。花弁は5枚で白色、萼は淡いピンク色をしていて、色のコントラストが綺麗です。蕾もきれいなピンク色をしたホオズキの様な5角の袋状の形をしています。



花が散った後の果実で、鮮やかな実を付けます。果実は6～7mmの球形で、10～11月に光沢のある綺麗な藍色に熟します、その果実を真っ赤な星形の萼が取り巻き、花だけでなく実も色のコントラストが見事です。

葉には名の通りにおいがありますが、ゆでれば食べることができます。若葉は山菜として利用されています。果実は草木染めに使われ、藁の灰汁で煮出した液で衣類を染めると浅青色（青緑色）になります。日本では先駆樹で嫌われていますが、欧米では、観賞用に栽培されているようです。

葉には名の通りにおいがありますが、ゆでれば食べることができます。若葉は山菜として利用されています。果実は草木染めに使われ、藁の灰汁で煮出した液で衣類を染めると浅青色（青緑色）になります。日本では先駆樹で嫌われていますが、欧米では、観賞用に栽培されているようです。
(竹下記)

水郷祭花火大会！

今年も水郷祭花火大会は、8月6日（土）と7日（日）両日とも20時から始まります。土曜日がメインです。近年、田和山山頂から観覧する人が増え、市では安全やコロナ対策に苦慮しています。サポートクラブでも協力される予定です。ご覧になる方はマスクの着用等忘れず、指示に従って楽しくご観覧ください。

9月の作業も9時からです

暑さ対策として7・8月は午前中作業でしたが、9月も引き続き午前中とし10月から午後の作業に切り替えることになりました。よろしくご協力ください。

今後の活動予定

8月5日（金）9：00～、12日（金）盆休み、20日（土）9：00～、26日（金）9：00～、

9月2日（金）9：00～、9日（金）9：00～、17日（土）9：00～、23日（金）9：00～、30日（金）9：00～

